

ニテ簡單ナル体操等行ハバ塔乗員ノ士氣昂揚ノ上ニモ少ナク
ラガル效果アリシ 以上先任塔乗員予々趣旨計画ヲ艦長ニ上申
ル上其ノ都度哨戒長ノ許可ヲ得テ実施スルヲ可トス 尚視力
保持ニ関シ「ガイタミン」人鏡ノ常用等ノ着眼亦勿心セニスハカラス
五、深度計校正合ハ発進ノ際之ヲ省略ストモ會敵近ニ毎日行フヲ
西女ス 示度ノ誤差 後レ等各艦塔乗員銘記シテカサレバ
淺吃水目標ノ龍巻撃ニ於テ「プラス」誤差ハ艦底ニ通過「マイナス」
誤差ハ運動不良 若シクハ不西ナル被発見效果ヲ惹起スル
恐レアリ

六、今般行動中、向天ノ筒内浸水ハ三、四号艦ヲ除キ殆ンド之ヲ
見ズ 三、四号艦ノ浸水ハ何レモ調深若シクハ調壓用「ロッド」
母貝通部ノ衛帶不良ニ起因セルニ鑑ミ該部ノ水防ニツキ一考
ヲ西女ス 尚出撃後毎日ノ訓練ニ於テ尙該「ロッド」ノ廻転

海軍

が履セ、繰返サル、事態ヲ考慮シ、数次ノ訓練ニ於テモ
「ロッド」ノ廻転ニ起因セル衛帶ノ水防不良ヲ若心起セザルコト
水防ヲ良クセントシテ「ロッド」ノ廻転滑度ヲ不良ナラシメ、操縦ニ
支障ヲ来スガ如キ「キコト」等特ニ着眼ノ必要アリ
七、潜水艦發進訓練ニ於テハ必ず交通筒ヨリ東艦ニ實際ノ
場合ト同一ナル手續（筒内一液注入ヲモ含ム）ヲ繰返シ訓練
シテ、必西女アリ之ガ爲ニ、訓練中潜水艦塔載回天ノ下部
「ハッチ」ヲ開閉可能ノ状態ニナシテ、尙筒内一液注入ヲナシ、
「カガ」ヲ西女ス 固ヨリ訓練的ニアリテハ交通筒ノ摺合せ
不充分ナルタメ東艦ハ浮上中ニ行フ「キコト」
八、操空若シクハ二空ノ漏氣アリタル場合ニ備ヘ下部「ハッチ」ニ
排氣弁ヲ新設セバ故障艦ノ交通筒注水ヲ促進ラセ發進
直前迄排氣ヲ行ハバ漏氣ニヨル發進不能ハ極度ニ減少ス

コトヲ得ベシ

九、特眼鏡ノ照準十角目盛固定用ノ板金ハ現用ノモノヨリ一〇乃至一五程長クセバ照準十角大ナル場合ノ観測容易トナリ且不要ナル震動ヲ防グタメ状況ノ許ス限り低キ眼高ニテ観測スルコトヲ得尚照準十角ハ龍巻撃ノ生命ナレバソノ清ハ特眼鏡ノ突出部ニ約一程以内ノ間隙ニテ嵌合シアルヲ要セス
 一〇、照準十角目盛ハ特ニ防鏽ニ留意シ充分ニエテメレテ入ルヲ要セス 特眼鏡ヨリノ漏水ニヨリ突鏽甚シクナリタル場合ニハ判讀極メテ困難トナルコトアリ

二、筒内諸灯接断器用ノカバシハ現用ノ「ファイバ」板ニテハ湿気ヲ吸收シ反リ返リテ接断器操作ニ支障ヲ来タスコトアリ
 金屬層鍍若シクハ「プラスチック」ヲ用ヒテハ如何
 三、筒内灯ノ漏光ヲ防グ爲メ特眼鏡ノ接眼部ヲ「ゴム」布ニシ

海軍

十、敵ヒ之ヲ「スパニヤン」ニテ固縛スル方法ヲ採リタルモ極メテ不便ナレバ観測訓練ノ後等ウツカリ之ヲ忘レテ漏光セシコトニ二三度アリキ 之ガ対策ハ固ヨリ塔乗員及セ整備員ノ注意カニ俟フ所ナランモ 目盛「ゴム」ヲ旨ニセル如キ西復蓋ヲ作ラバ便ナラン
 三、夜間校正備ニ使用懐中電灯赤色光ノ光達距離ヲ
 二、アメ測定シテクヲ可トス

四、四維牌支持用ノ三本脚ノ部分ヲ透明ナラシムルヲ可トス
 五、筒内防鏽ノ爲メ出来得レバ操縦室ノミニテモ塗料ヲ万偏ナク塗エルヲ可トス 突鏽ニ伴フ悪臭汚レ等此ニカサリトモ
 四、戦斗力ニ影響スル所アラシ

(終)